

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	英語 B	担当教員	種村俊介			
学年学科	1 年 全学科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標	(C-2) 100%					
授業の目標と期待される効果： 英語コミュニケーション能力の基礎となる英文法と語彙の定着を目指す。また、比較的容易な英文を多量に読む多読活動を取り入れ、英語のインプット量を増やし、英文の内容を読み取る力を養成する。 ①英文法の知識を深める ②語彙を増強する ③長文の内容を読み取ることができる ④学習した語彙・文法事項を基に、基礎的な英文を書くことができる		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 80 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 80 点 学年：前期・後期の重みを等しくして合計し、得点率 (%) で成績をつける。 達成度評価の基準： 以下の項目に関する教科書レベルの試験・課題の総合点が 60%以上に達すれば合格とする。 ①文法知識 ②語彙力 ③文法知識と語彙力を基にした読解力 ④文法知識と語彙力を基にした英語作文力				
授業の進め方とアドバイス： 授業では、教科書と参考書に沿って文法事項を学習する。授業には必ず英和辞書を持参すること。指示された予習は必ず行い、わからない単語は辞書で調べてから授業に臨むこと。各授業の復習を欠かさず行い理解できていない点は、後回しにせずその都度教員に質問するようにして、理解と定着に努めること。						
教科書および参考書：総合英語エイブル, able English Grammar 27 Lessons, able English Grammar 27 Lessons Workbook						
授業の概要と予定：前期						
第 1 回：授業概要の説明						
第 2 回：文の種類						
第 3 回：文型①						
第 4 回：文型②						
第 5 回：時制①						
第 6 回：時制②						
第 7 回：時制③						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：完了形①						
第 10 回：完了形②						
第 11 回：助動詞①						
第 12 回：助動詞②						
第 13 回：助動詞③						
第 14 回：受動態①						
第 15 回：受動態②						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期
第17回：不定詞①
第18回：不定詞②
第19回：不定詞③
第20回：不定詞 Further Study
第21回：動名詞①
第22回：動名詞②
第23回：分詞①
第24回：中間試験
第25回：分詞②
第26回：分詞 Further Study
第27回：比較①
第28回：比較②
第29回：比較 Further Study
第30回：関係詞①
第31回：関係詞②
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）